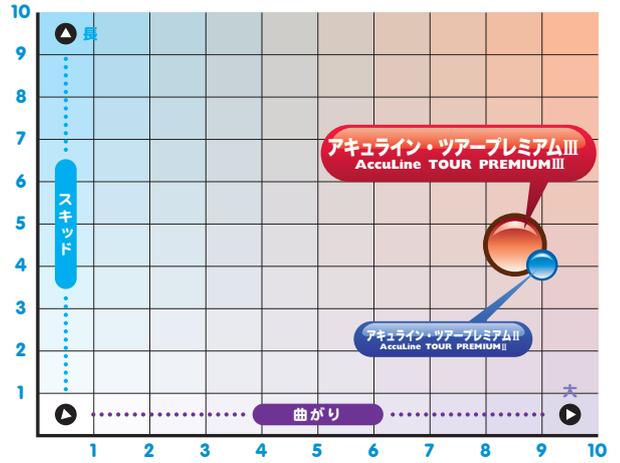
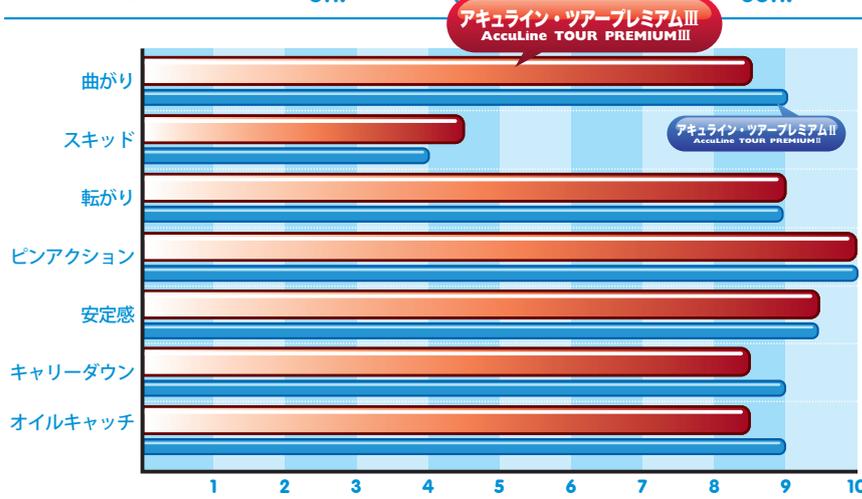
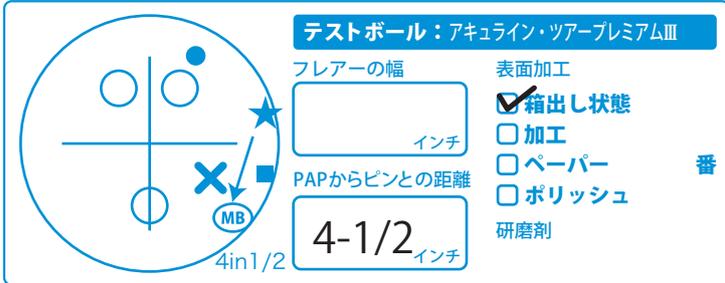


ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 アキュライン・ツアープレミアムⅢ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	△RG 0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール



ボールの評価

今やナノデスシリーズは国外のHigh-Performanceと肩を並べるくらいかそれ以上の評価を頂き、プロ・アマ問わず多くの皆様に愛され、使用頻度が益々高くなっています。中でも今回のTour Premiumシリーズはナノデスの中でもコアを統一してカバーでパフォーマンスを変化させていく一貫性の領域で、「コアが同じなのでイメージしやすい」または「歴代の性能からカバーの強弱で性能が想像できる」等、コアの一貫性がなせるのもさることながら、曲がりやピンキャリアに至るまで高いレベルでの仕上がりがあってこそ、ユーザーのハートをガッチリと掴むことができるものであり、納得がいくまで作り直すことを信条する日本エボナイト社とのパートナーシップがなせる拘りがナノデスシリーズには現れています。今回のAccuLine Tour Premium 3にはあらたに今までなかったHybrid素材載せたバージョンをお届けします。

初代Tour PremiumはNano-Thane2.0のPearl、Tour Premium 2は2.0 Solid、Tour Premium 3はHybridを搭載することでSolidとPearl双方の良い部分を掛け合わせたようなボールに仕上がったと思います。Solidほどブレーキがかかる訳ではないけど、しっかりと止まって曲がってほしい。キャッチを強めても初代Tour Premiumのような柔らかい切れ込むような曲がりには欲しい。私の場合はPremium 2はブレーキのかかり具合が速めに感じ、その分動きも速めに出ていました。初代Tour Premiumのような柔らかめのフリップ感そのままにキャッチを強められないかな〜と思っていた時に、このHybridの登場です。初代Tour Premiumよりも早めにブレーキはかかるものの、柔らかくフリップ感のある曲がり。Tour Premium 2よりは初代Tour Premiumの曲がりに近い形でキャッチを強めることができました。プロトタイプでABS専属の松永プロがパーフェクトの報告がSNS上でありましたので、気になっている方も多いのではないかと思います。初代Tour Premiumを気に入って使用して頂いた方は、バッチリイメージのあうボールに仕上がっていると思います。

特記事項

初代Tour Premiumの動きをそのまま継承しながらキャッチだけをやや強めました。独特なMidのブレーキ感、そこから柔らかくキレ込むフリップ感。このボールはレポートから外せないでしょう。